

自然の大切さを考えるワークショップ

パークレンジャー養成基礎研修

2021/4/11

NPO法人日本パークレンジャー協会



1. あなたは自然の大切さについて考えたことがありますか？

パークレンジャーの活動目的は「**自然の大切さを伝える**」ことと言っていますが、あなたは子どもに「**自然ってなに?**」、「**自然は どうして大切?**」と聞かれたら何と答えるでしょうか？



考えてみましょう!

2. 自然とは?

西洋的な見方: **自然** (しぜん) = **Nature**

- * 人間を含めてこの世のもの全部
- * 人工的でないもの
- * そのものに元々備わっている性質
- * 自ら生まれて成長し変化してなくなっていくもの

人間中心でモノや資源、科学として見る

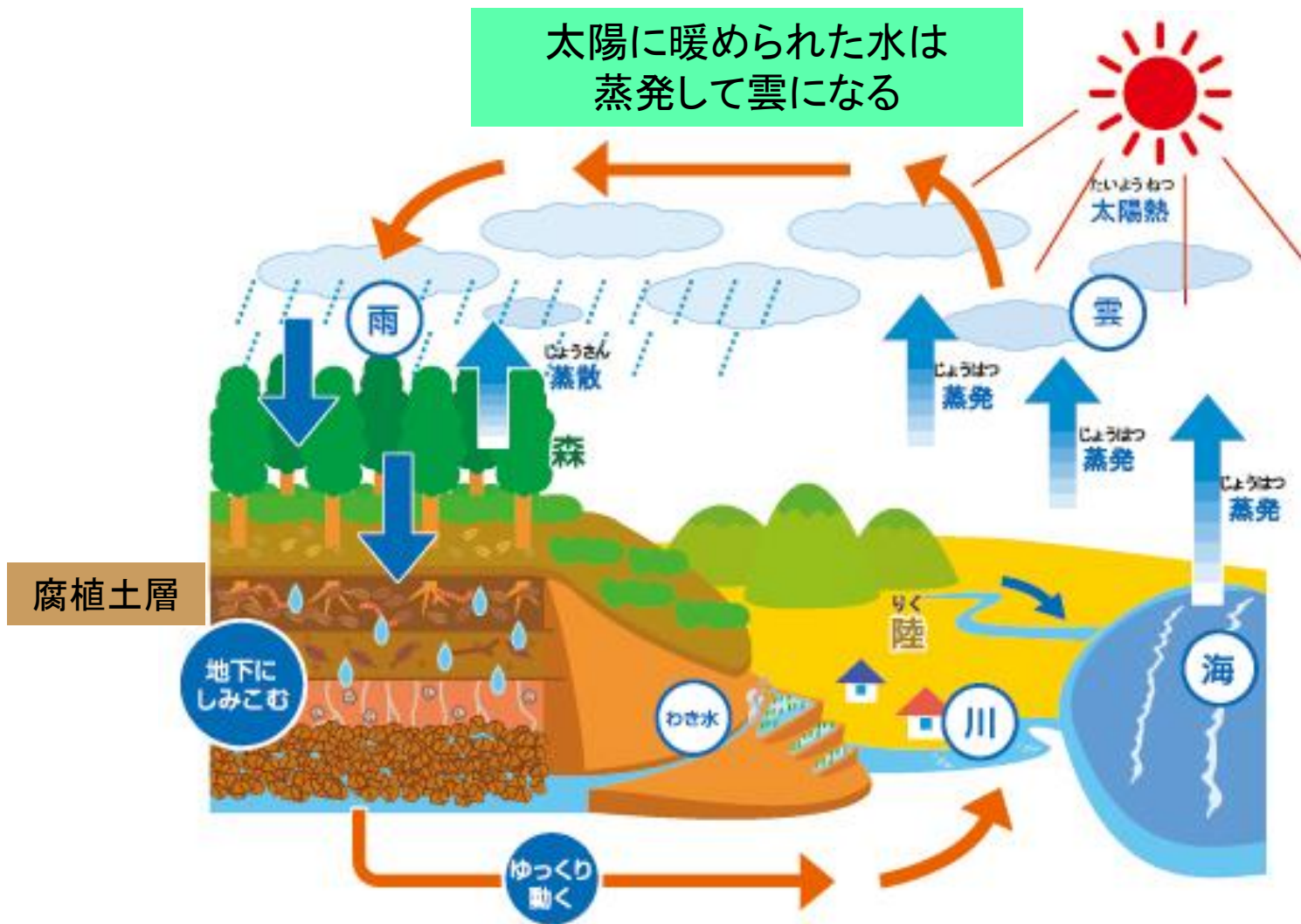
日本的な見方: **自然** (じねん: 古来からの日本語)

自(おの)ずからの性質に従って **然**(しか)るべくあるもの
(人にはできない)あるがままに存在するもの

自然とは何か説明してみよう!

3. 自然の仕組みI (水の循環)

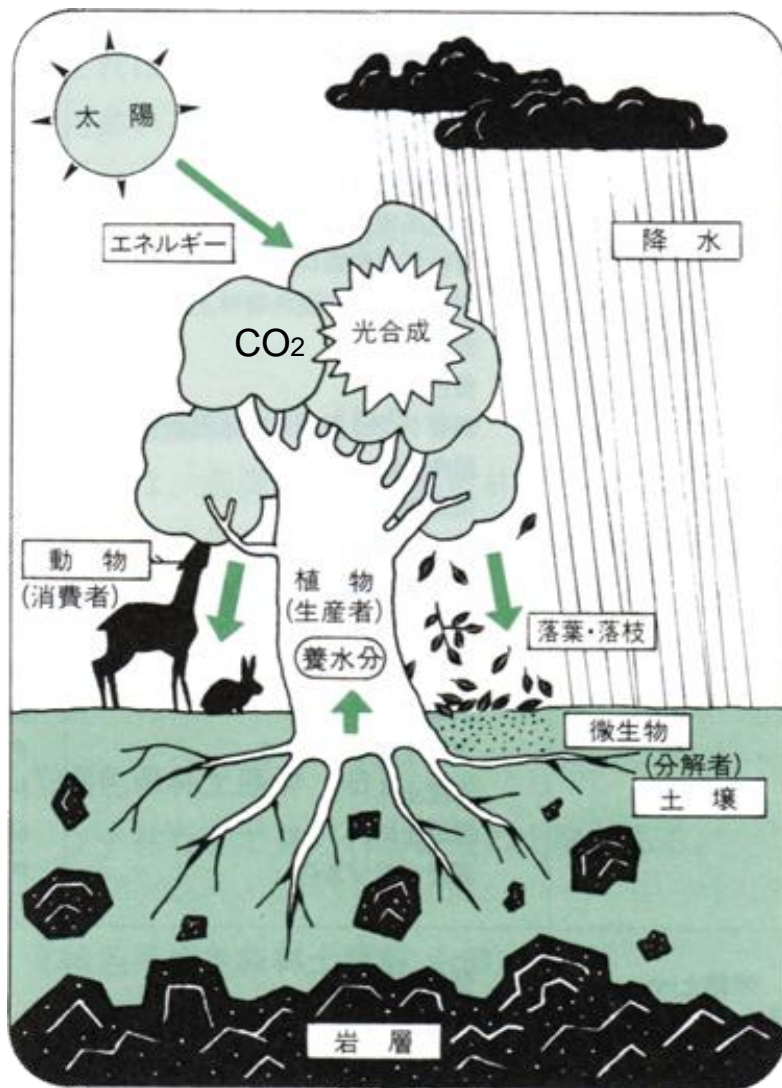
サントリー一次世代環境教育「水育」より



水の循環を分かり易く説明してみよう

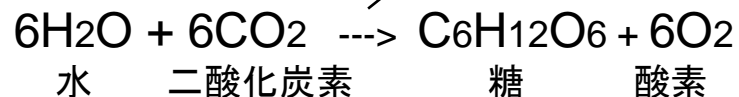
4. 自然の仕組みII (森林の生態系)

森林・林業学習館HPより



植物の光合成

+ 光エネルギー



生産 : 植物 (糖を作り自ら成長)

消費 : 動物 (他の生きものを食べる)

分解 : 土壌生物・微生物(菌類)

(植物や動物の遺体を分解)

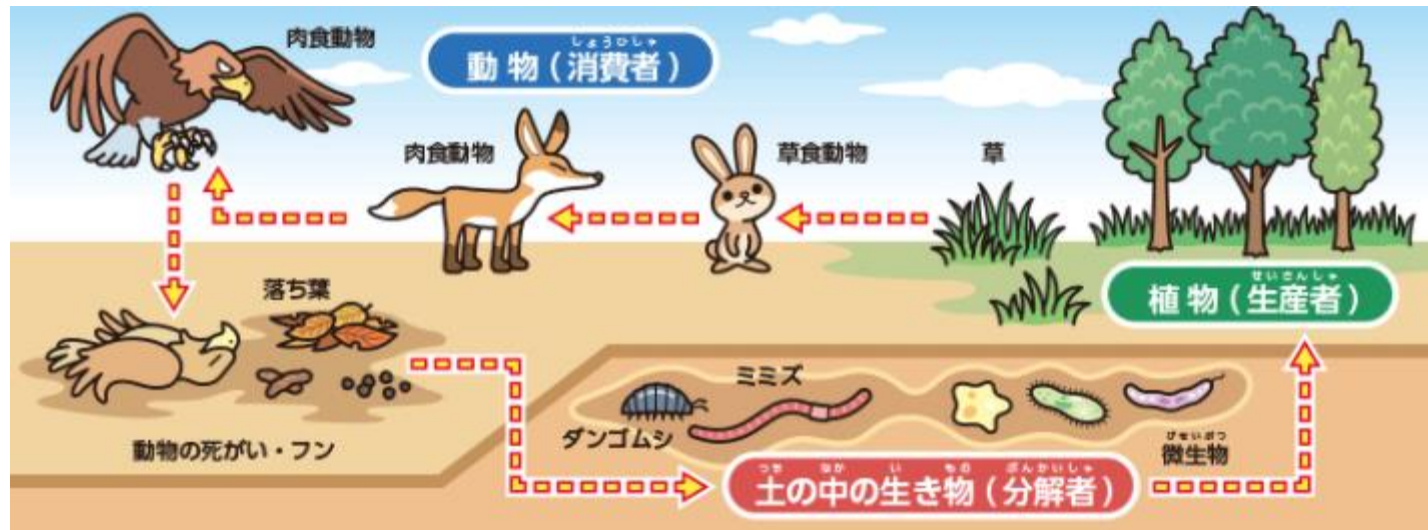
森林生態系:

森林を構成する生きものと自然環境とのやり取りや、生きもの同士の相互関係で成り立っている自然の仕組み言う

自然の仕組み(森林の生態系)を分かり易く説明してみよう!

5. 生きもののつながり(食物の連鎖)

図: HitachiのHPより



森には草や木、ウサギやキツネ、小鳥や昆虫、キノコなど、また目には見えない小さな生きものがたくさん住んでいる。これらの生きものはバラバラに生きているのではなく、植物を起点にしてお互いに食う食われるという関係でつながっている。そして生きものは死ぬと、土中の生きもののえさとなって分解され、また植物の栄養となる。

では自然は大切と言いますが何故大切なのか考えてみましょう

6. 自然の大切さ(恩恵)を考えてみる

物質的な恩恵:

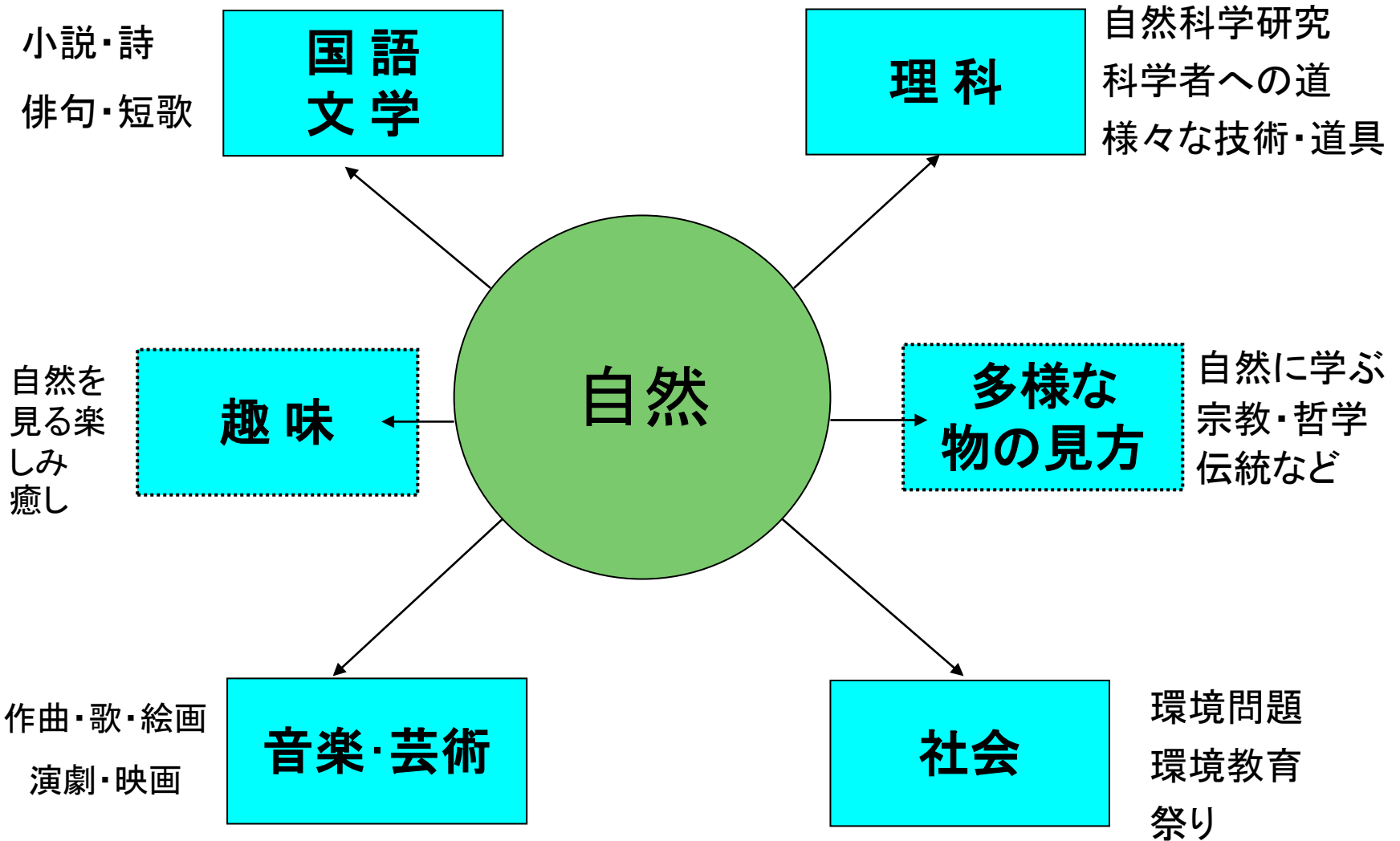
- 人は自然から生きるために必要なものを得ている
 - 水、空気、衣・食・住 (基本は植物から)、燃料、医薬、産業用資源...
- 人が住む環境の調節維持 (気候の制御、水や空気の浄化、災害防止)
- 自然はさまざまな生き物のつながりで成り立っている (生物の多様性)
 - 人は自然の一部分 **自分とは → 自然の部分と書く**
- 人は自然を観察して色々なものを作りだしてきた → **次ページ**

非物質的な恩恵:

- 自然の中に神様: 人知を超えた存在/畏れや尊敬の対象
 - 自然災害・自然のめぐみ・不可思議・生命力・ご先祖様
- 美しい景色、リクリエーション場、癒しの場
- 科学、芸術、宗教・哲学、里山の文化、環境教育
- 私たちのルーツにつながる: 「宇宙→地球→生命誕生→生きもの→人間」

自然の大切さを自分の言葉で説明してみよう

5. 自然を見ることから生まれたもの



自然を見ることから生まれたものを説明してみよう

8. 私たちの祖先

JT 生命誌絵巻より

現代の色々な生きもの



今私たちがここにいるのは生命誕生の共通の祖先があるから

9. 自然の大切さまとめ

自然からの恩恵(利益)

生産・供給(物質的利益)	調節・制御(生活環境安定化)	非物質利益(文化・教育・宗教)
食料 水 燃料 医薬 生活物資 産業資源 遺伝資源....	気候の調整 大気・水の浄化 自然災害防止 無毒化 生きものの数 花粉の媒介 種子散布....	森林セラピー(療養) レクリエーション 自然の美・景観 色々な芸術: (音楽・絵画・俳句/短歌・小説... 神様 発想 科学 宗教/哲学 教育....
自然の基盤		
一次生産(植物が生産) 土壌の形成(分解) 物質の循環		

この表現は最近「生態系サービス」と言う言い方でよく出てきます

10. アメリカ先住民のことば



大地は祖先から引き継いだものではない
子孫から借りているものなのだ

アメリカインディアン スー族

We do not inherit the earth from our ancestors. We borrow it from our children.

11. アイヌの自然観

北海道観光振興機構HPより

自然と共に生きてきたアイヌは、山や湖などの自然や動植物、家や道具などそれぞれに「神(カムイ)」が宿るとして敬い、人も自然の一部だと考えた



- *自然界から必要なものを
必要なだけいただく
- *それを余すところなく使う
- *人間はいただいた命によって
生かしてもらっている

海のカムイに感謝する

川のカムイに感謝する

山のカムイに感謝する

自然に感謝しあるがままに生きるという生き方

RISA WORKS HP 先住民族「アイヌ」を知る展より

後先はわかりませんがアイヌの自然観は古来の日本人の自然観と同じです
先住民としてのアイヌの自然観が日本人の自然観に影響したのかもしれない

12. 實語教に見る古(いにしえ)人の自然の見方



山高故不貴以有樹為貴

山高きが故に尊からず

樹あるをもつて尊しとなす

山は高いから価値があるのではない

そこに木々があるからこそ価値がある

實語教は平安後期に作られた庶民の教訓書 / 寺子屋で学問書として使われた
また近代日本の倫理規範とされてきた

13. さいごに

当たり前のことをあらためて「それはどうして?」と聞かれると返事に困ります。「自然とは何?」、「自然はどうして大切?」と言うのも同です。

これから皆さんが色々な切り口で自然の話をする時、この講座で学んだことを自分の言葉で子どもにも分かるように(自然の)話ができるようになって欲しいと思います。